



□ —「ホッカイドウ」の「アグリ」に関する「ホカホカ」情報を—

□□□□ 北海道農政事務所メールマガジン『ホカグリ通信』

□★□□□□ □

□□□□□□□□ 農林水産省北海道農政事務所

□ □□□□□ <https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

□ □□ 令和5年3月31日発行 vol.113



<目次>

【1】ホカグリ情報局

【2】現場のきら星☆ 『データを駆使した農業を実践』

若手農家グループ「NAT」代表 舟根純貴さん（鷹栖町）

【3】地方参事官こぼれ話 北見地域拠点 片野 克彦

■□■□■□■□■□<1. ホカグリ情報局>■□■□■□■□■□■

（1）輸出産品・加工品など5産品を地理的表示（GI）として登録

▽農林水産省は、3月31日に、阿波尾鶏（徳島県）、十勝ラクレット（北海道）、徳島すだち（徳島県）、深蒸し菊川茶（静岡県）、行方かんしょ（茨城県）の5産品を地理的表示（GI）として登録しました。今回の登録で国内のGI登録産品は126産品、北海道のGI登録産品は7産品となりました。

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/230331.html

（2）食料・農業・農村政策審議会 基本法検証部会（第12回）の開催について

▽農林水産省は、3月27日に、「食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会（第12回）」を開催しました。第12回のテーマは、「食料・農業・農村基本法の検証・見直し検討について〔今後の施策の方向（農業）〕」です。

配付資料はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kensho/12siryo.html>

食料・農業・農村基本法 Web ページ

<https://www.maff.go.jp/j/basiclaw/index.html>

（3）畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）における交付単価の改定について

▽畑作物の直接支払交付金における交付単価について、令和5年産より改定されることとなりましたのでお知らせします。

新しい交付単価は下記リンク先を参照して下さい。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/suishin/keieiantei/keiei_antei/attach/pdf/index-11.pdf

(4) 農林水産省共通申請サービス(eMAFF)導入のお願い

▽「eMAFF」は、農林水産省の所管する行政手続や補助金・交付金の申請・審査手続をオンライン（スマートフォン等）で行うためのシステムです。認定農業者制度や強い農業づくり総合支援交付金事業、経営所得安定対策等、多くの手続が eMAFF を使って申請が可能となります。

eMAFF について：<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/dx/emmaff.html>

eMAFF 申請ページ：<https://e.maff.go.jp/GuestPortal?ec=302&startURL=%2Fs%2F>

(5) 北海道の生産現場と食に役立つ情報をホームページで発信しています。

▽北海道農政事務所は、「みどりの食料システム戦略」に関する情報をまとめた Web ページを開発しています。補助事業やパンフレット等の施策に関する情報だけでなく、道内の取組事例や、有機食品を購入できる店舗など、生産現場と食に役立つ情報を発信しています。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/midori/top.html>

(6) 統計情報

○北海道の農林水産基本データ集を更新しました。

<http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/kihondata/kihondata.html>

○北海道における「令和3年度6次産業化総合調査結果」について

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html#mar>

○北海道における「令和4年産なたねの市町村別作付面積及び収穫量（北海道）」を公表しました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html#shichoson>

○北海道における「令和4年産てんさいの市町村別作付面積及び収穫量（北海道）」を公表しました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html#shichoson>

○北海道における「令和4年産小麦の市町村別作付面積及び収穫量（北海道）」を公表しました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html#shichoson>

(7) BUZZ MAFF『なまらでっかい道』をご覧ください。

▽農林水産省は、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を伝えるため、職員のスキルや個性を活かして、省公式 YouTube チャンネルで情報発信をしており、北海道農政事務所でも「なまらでっかい道」というチームが発信しています。

○BUZZ MAFF『なまらでっかい道』の web ページ

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/buzzmaff/index.html>

3月発信動画

・【就活生必見】若手国家公務員ズが農水省の仕事を紹介します！

<https://www.youtube.com/watch?v=bcBydyzAw-c>

・銀世界のなかでキャベツを収穫！

<https://www.youtube.com/watch?v=vXmnOfbtK6Y>

・水産庁の漁業取締船に初潜入！！

<https://www.youtube.com/watch?v=xMgBbU5zLdY>

(8) 農林水産省広報誌「aff (あふ)」をご覧ください。

▽「aff (あふ)」は、消費者の皆さん、農林水産業関係者の皆さん、そして農林水産省を結ぶウェブマガジンです。3月の特集は、「日本の桜」です。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

■□■□■□■□■□■□ < 2. 現場のきら星 ☆ > ■□■□■□■□■□■□

★今月のきら星・・・『データを駆使した農業を実践』若手農家グループ「NAT」代表 舟根純貴さん（鷹栖町）

北海道鷹栖町の若手農家8人で構成する「NAT（ネクスト・アグリ・タカス）」は地域農業の課題である高齢化と担い手不足を乗り越えるため、大区画水田における除草剤散布作業の省力化などの実証を行っています。

代表の舟根純貴さん（36）は稲作農家の三男として生まれ、旭川工業高等専門学校に進学後、大手タイヤ製造会社に就職し、海外工場の新增設を担う部署で毎月のように海外出張するなど充実した会社員生活を送っていましたが、「自らの経営力を試したい」との思いから、2017年春に実家に戻り就農しました。

「農家がデータを使いこなす。そんな時代がやがて来る。」将来をこう見据えて語る舟根代表は、農作業へのデータ活用に意欲的な仲間を集めて勉強会グループ「NAT」を2019年に結成し、水田の環境測定や水稻生育の課程をデータで記録することを始めました。会社員時代に培った「誰もが分かるようにデータを見やすく整理する技術」を駆使して生育を振り返ることなどを、グループの活動内容にいかしており、その活動は、「水田の大規模化を支える基本技術や省力化・コスト削減につながる」と考えています。

高齢化による離農を規模拡大の好機と捉える前向きな性格に地域の若手が集まるのも頷けます。

「NAT」では、水田の大規模化に対応した「水稻直播」技術の確立を目指すほか、水田を基軸としながらも経営安定のために施設園芸（トマト、きゅうり、ぶどう等）を取り入れた複合経営の体系確立実証を行っています。

結成から5回目の春を迎える「NAT」はこれからも仲間を増やし、「データの活用で地域農業を盛り上げる」ための活動を続けていきます。

■□■□■□■□■□■□ < 3. 地方参事官こぼれ話 > ■□■□■□■□■□■□

★今月の地方参事官・・・北見地域拠点 片野 克彦

昨年4月に北見地域拠点に着任し、オホーツク・北見での生活も1年近くなりました。関東生ま

れ関東育ちの私としては、マイナス 20℃にもなる北見の厳冬に耐えられるだろうかと危惧していましたが、段々に寒くなる中ですっかり身体が慣れてしまい、今ではプラスの気温になると「今日は暖かいね！」と言う始末です。人間の身体はうまくできているものですね。

オホーツクの冬といえば流氷です。私も何度か観に行きましたが、特に青空の下での能取（のとり）岬や流氷観光船からの眺めはまさに絶景でした。まだ御覧になったことがない方は、来シーズンは是非オホーツクをお訪ねください。

さて、着任以来、北海道で盛んな酪農を応援するため、牛乳乳製品の消費拡大を強く意識するようになりました。

個人的には、毎朝の一杯の牛乳のほか、牛乳を混ぜて手軽に作れるフルーツ系デザートを楽しんだり、コーヒーリキュール（お酒）を牛乳で割って晩酌したり……。また最近では国産生乳を使用したチーズもスーパーの棚でよく見かけるようになりましたので、必ず国産のものを選ぶようにしています。ちなみに、帯広出身の私の母は、毎朝の牛乳に更にスキムミルクを加えるなどの自己管理をしているおかげか、齢八十五を過ぎても足腰がしっかりしており、歩くスピードは私より速いらいです。

北見地域拠点 Web サイトでも昨秋からトップページにバナーを設け、「牛乳でスマイルプロジェクト」の PR を行っています。牛乳でスマイルプロジェクトでは牛乳乳製品を使った料理のレシピも紹介していますので是非ご覧ください。

現在、飼料価格の高騰や仔牛価格の下落などにより、我が国の酪農家の経営環境がこれまでに無いほど厳しい状況になっています。牛乳乳製品の安定供給のためにも、牛乳乳製品を毎日の食事に取り入れ、日本の酪農を「食べて応援」していきましょう！

牛乳でスマイルプロジェクト：https://www.maff.go.jp/j/chikusan/gyunyu/lin/gyunyu_smile.html



▽北海道農政事務所の各地域拠点では、Web サイトを開設しています。地域の取組や身近な情報の発信などを行っていますので、ぜひご覧ください。

○札幌地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/index.html>)

・令和 4 年度千歳市農政懇談会で「令和 5 年度農林水産予算概算決定の概要」等の説明を行いました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/photorepo/torikumi/230208.html>

・(有) 大塚ファーム代表と意見交換を行いました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/photorepo/torikumi/230302.html>

・令和 4 年度石狩地区農協青年部連絡協議会幹部研修会で「令和 5 年度農林水産予算概算決定の概要」等の説明を行いました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/photorepo/torikumi/230303.html>

・出前授業「今、私たちに何ができるか考えてみよう～学生と考えるみどりの食料システム戦略～」を開催しました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/photorepo/torikumi/20230308_iwamizawa_demae.html

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

◇バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/hok_agri_tsuushin.html

=====
編集・発行：農林水産省北海道農政事務所 企画調整室

このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。

本メールマガジンに関するご意見・ご感想をお寄せください。

TEL:011-330-8801 FAX:011-552-0530

E-mail : hokaguri_tsushin000@maff.go.jp

=====